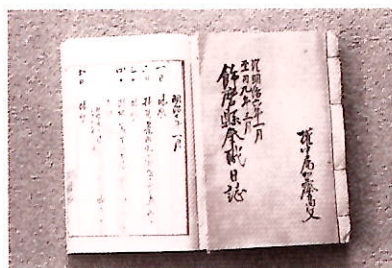
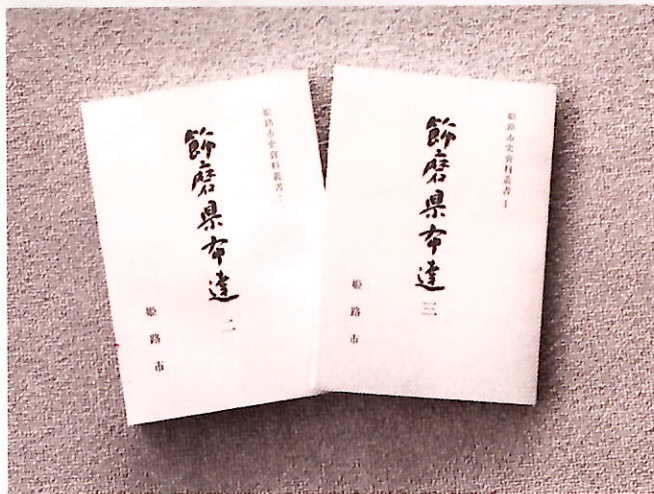


飾磨県布達 二・三



飾磨県参事 森岡昌純



飾磨県奉職日誌(加藤隆文文書)



飾磨県庁

姫路に文明開化の波が

— 飾磨県布達のはたす歴史的役割 —

「飾磨県布達」二に続くシリーズで、原文書をそのまま復刻した二巻・三巻の同時発刊です。「飾磨県布達」とは、明治の夜明けに置かれていた飾磨県から県内に発令された布告令達類をひとまとめにして命名したものです。明治の初期は、本文中に掲載されているような木版刷りで管内に布達されていました。

第二巻は、解説部で地租改正に至る過程を取りあげています。布達の項目では、世界文化遺産の姫路城が廃城とならず残るものとなった「諸国存城につき通達」や市町村の行政が整備されるまでの橋渡しとなった「飾磨県管内正副戸長職制」などが含まれています。

第三巻の布達の項目では、姫路が軍都になるきっかけとなる「鎮台条例改訂」、明治の学制が發布されて、各村に多くの小学校が建てられるが、その資金のほとんどは村人からの寄付金であったことがわかる「小学校へ寄付金願出」などが含まれています。また解説部では、飾磨県の行政機構の形成過程を取りあげています。

◆各巻の構成と今後の発刊計画

全9巻発刊済	
第一巻	明治四年十一月～明治六年三月 既刊
第二巻	明治六年三月～七月 既刊
第三巻	明治六年七月～明治七年二月 今回発刊
第四巻	明治七年二月～十二月 平成九年度発刊予定
第五巻	明治八年(上)
第六巻	明治八年(下)
第七巻	明治九年

〈購読申し込みについて〉

頒価(各巻) 一、五〇〇円 送料:三〇〇円

頒布場所 城内図書館 史料整理担当

申込先 〒六七〇 姫路市本町六八―二五八

日本城郭研究センター内

城内図書館 史料整理担当

TEL 〇七九―二八八―四八八六